

平成30年11月6日

文教厚生常任委員会 委員長報告

文教厚生常任委員会の所管する部署は、保健福祉部・子どもあんしん部・教育委員会です。

【委員の紹介】

写真の上段左側から

菅原満委員、鳥飼雅司委員、内山恵子委員、村田富士子委員、
富澤啓二委員、吉田けさみ委員、金井伸夫委員、

写真の下段左側から

猪原陽輔委員長、吉田武司副委員長

以上9名



本委員会に付託された案件は、次の通り、議案10件です。

件 名	表決の状況
議案第49号 和光市重度心身障害者医療費支給に関する条例の一部を改正する条例を定めることについて	全会一致
議案第50号 和光市学童クラブ設置及び管理条例の一部を改正する条例を定めることについて	全会一致
議案第51号 平成30年度埼玉県和光市一般会計補正予算（第2号）	全会一致
議案第52号 平成30年度埼玉県和光市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	賛成多数
議案第53号 平成30年度埼玉県和光市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	全会一致
議案第54号 平成30年度埼玉県和光市介護保険特別会計補正予算（第1号）	全会一致
議案第56号 平成29年度埼玉県和光市一般会計歳入歳出決算の認定について	賛成多数
議案第57号 平成29年度埼玉県和光市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	賛成多数
議案第58号 平成29年度埼玉県和光市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	賛成多数
議案第59号 平成29年度埼玉県和光市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	全会一致

【本日の報告】

本日は、文教厚生常任委員会に付託された議案のうち、平成29年度の決算審査の中から質疑と答弁をいくつかご紹介して、委員会の報告とさせていただきます。

●議案第56号 平成29年度 埼玉県和光市 一般会計 歳入歳出決算

【民生費①】～社会福祉総務費～

主な質疑と答弁

質問 和光市看護師・介護福祉士・保育士等就学等資金助成金の実績について伺う。

答弁 実績は保育士が2名、管理栄養士が1名の合計3名となっています。



【民生費②】～社会福祉費、総合福祉会館費～

主な質疑と答弁

質問 総合福祉会館内の「各施設の満足度を高め、定員の充足を図る」という事業の方向性が示されているが、就労継続支援A型、B型の充足を図っていくと捉えてよいか。

答弁 生活介護のゆめちかにおいては定員いっぱいまでフル稼働しております。その中で質の向上も高めていただいているということと、就労継続支援のA型、B型も指定管理のモニタリングの中での指摘等を協議しながらですが、障害者の雇用の内容や見直しなど実際の希望をしっかりと組んで、質を上げることで利用者数の増加を図ってほしいというような話をしています。

【民生費③】～児童措置費～

主な質疑と答弁

質問 乳幼児・子ども医療費助成に関して、医療費適正化の取り組みについて伺う。

答弁 頻回受診、コンビニ受診の防止や、ジェネリック医薬品の推奨等が浸透しつつあるので、政策的な抑制は効いていると認識しております。



【民生費④】～生活保護費～

主な質疑と答弁

質問 生活困窮者自立支援事業において、実際に就職に至ったケースはどのくらいあったのか伺う。

答弁 相談にいらして、就労された方は平成 29 年度は 43 名です。正規雇用 14 名、非正規 29 名です。いかに正規雇用につなげていくかが、今後の課題です。

【教育費①】～教育振興費～

主な質疑と答弁

質問 和光市のいじめの増減状況はどうなっているのか。

答弁 県の指針で示されたものや調査に基づいていじめの実績をカウントしていますけれども、その定義に当てはめてカウントをしていこうとすれば、現状として減るということではありません。積極的に認知をしていくという観点でカウントをしていくので、いじめ件数はむしろふえる可能性があります。

【教育費②】～教育振興費～

主な質疑と答弁

質問 特別支援学級等学校支援員は全校的に充足できていると捉えてよいのか。

答弁 就学支援委員会や学校からの報告等で状況を把握しているのですが、必要などころから充てていっているというところでは、正しく行っていると考えています。教育・福祉の連携の中で、就学支援委員会の案件については、教育委員会だけでなく、保健福祉部とのチームケアでやっていきます。

【教育費③】～小学校費～

主な質疑と答弁

質問 小学校の教育扶助について、生活困窮世帯に支援が行き届くよう、どのように制度の周知を図っているのか。

答弁 年度内中であるならば、1つは就学援助に関するチラシを配布をする、4月の当初では、各学校で学校だよりに掲載をして周知を図っていますけれども、さらに一層事業の内容が伝わりやすいような方策を検討します。

また、保健福祉部の職員にもこの制度を周知して、学校教育のほうまでコーディネートしていきます。そのほか、新入生の就学前に支給する制度であるとか、前年の所得が市県民税確定時期の関係でいろんな課題があったのですが、今その辺も整理をしながら要綱を変更して、使い勝手のいいものにしていきたいと思っています。

【教育費④】～保健体育総務費～

主な質疑と答弁

質問 スポーツ振興業務について、市民が参加しやすく、習慣化することが課題だが、どのように推進していくのか改善内容について伺う。



答弁 事業の実施場所が総合体育館等、駅の南側に集中しております。そこで、昨年度からの試みで、下新倉小学校の体育館や校庭、和光北インターの近くにできた公園を活用した事業を実施しており、そういった事業を今後増加できれば、習慣化につながっていくと考えております。

●議案第57号 平成29年度 埼玉県和光市 国民健康保険特別会計 歳入歳出決算

主な質疑と答弁

質問 退職被保険者等療養給付と退職被保険者の高額療養費に不用額が出ているが、どのような状況だったのか伺う。

答弁 退職被保険者の制度自体が終了するというのが一番大きいと思います。平成27年度からの新規適用がなくなって、平成29年139人だったのが、今現在76人まで被保険者が減っています。

●議案59号 平成29年度 埼玉県和光市 介護保険特別会計 歳入歳出決算

主な質疑と答弁

質問 介護予防生活支援サービス事業費は前年度と比べて155%伸びているが、この効果について伺う。

答弁 平成29年7月に新しい介護予防拠点ができ、また、平成28年12月にも新しい介護予防拠点ができてことで、運営委託料が伸びております。高齢者の方が頑張ってリハビリなどをして、さらにその後、こういった受け皿をつくっていった、健康を維持していく取り組みを和光市ではずっと行っているのです、そういった意味での効果があると認識しています。

以上 ご報告致しましたが審査の主な内容と採決の結果の詳細については、委員会記録をご参照ください。